

令和2年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

少子高齢化が急激に進み、引きこもり、孤立死、虐待、子どもの貧困やいわゆるごみ屋敷など、目につきにくい新たな問題が増えています。これらの多くは社会的に孤立し、困っている本人が誰にも SOS を発信できないことも多く、周りは気づきにくい状況となっています。

一方、昨年泉区が実施した「区民意識調査」では、現在の地域活動への参加状況や、今後の参加意向についても低いことがうかがえます。

本会では、地域全体が抱える課題や個々に感じる生活のしづらさや困りごとなど、制度の狭間にある課題に対して、住民同士での「地域のつながりと支えあい」を基本とした活動や意識を育て根づかせる活動を、今よりもっと広げていくことが求められています。

こうした活動を継続するには、本会の会員である様々な組織や団体が連携・協働し、それぞれが持つ機能を活かして、事業を推進していく必要があります。

住民に一番身近な地区社協においても、「住民一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」が進められるように、情報を発信し、地域の人材や活動費の確保、研修等に積極的に取り組みます。

本会専門機関部会が取り組んでいる「泉サポートプロジェクト」においては、社会福祉法人の地域貢献活動に留まらず、企業や各種団体等の多様な主体の参加を得て、活動を支援するとともに、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）とのつなぎ役を果たします。

泉区では、高齢者の医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を地域ケアプラザエリアごとに進めています。今年度も区役所や地域ケアプラザ等と連携して、泉区の特徴を活かした具体的な取組を進めます。

今年は、誰もが住みやすいまちづくりを目標に掲げた「第3期 泉区地域福祉保健計画」の最終年度でもあり、第4期計画の策定という大事な局面を迎えています。これまでの各活動の総括と、今後「地域共生社会」の実現に向けた具体的な目標設定が必要です。

また、これまで地域活動やボランティア活動の拠点として役割を果たしてきた、福祉保健活動拠点（泉ふれあいホーム）を有効に活用されるよう管理・運営を継続していきます。

【重点取組項目】

1 生活支援体制整備事業の推進

地域の中で「交流・居場所」「生活支援」「見守り・つながり」が満たされるように、具体的なサービス創出や地域の支えあいの仕組みづくりを進めます。

2 地区社協の支援

各地域での身近な支えあいの関係を築いていくために、地区社協が施設や団体との連携

が深められるよう支援に努めます。また、定期的に行っている地区社協分科会では、共通する課題の検討や研修会を企画します。

3 区内社会福祉法人や企業との連携・支援

現在、社会福祉法人との連携のもとに進めている「泉サポートネットプロジェクト」の取組を継続し、更に広げていくように、社会福祉法人や企業の地域貢献活動を支援します。また、同時に地域ケアプラザエリアごとの特色ある活動にも反映するよう働きかけます。

4 ボランティアセンターの機能強化

ボランティア登録者に限定しないで、地域、学校、企業等に視野を向けて迅速な相談・調整に努め、地域の福祉活動の担い手の発掘や育成を進めるため、講座等を企画します。また、「福祉教育サポーター」の拡充も行います。

5 高齢者や障がい者のための権利擁護の推進

援助を必要とする者が、地域の中で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、成年後見制度への移行や市民後見人との連携など、必要な人にサービスが届くよう、あんしんセンター事業を進めます。

6 障がい児・者の社会参加や自立支援・理解促進

移動支援のニーズに応えるため人材発掘や育成に取り組めます。また、障がい理解や災害時支援を進めるため、地区社協や地域防災拠点運営委員会等で当事者発研修を実施します。

7 子ども・子育て支援

子どもたちの育ちを支援するため、福祉教育やサマースクール（福祉体験学習）を充実します。また、企業や住民からの食支援の受け入れや地区社協や地域の福祉保健団体等と連携により子ども食堂等の居場所の拡充に努めます。

8 泉区地域福祉保健計画の推進

第3期計画の最終年度の総括と振り返りと第4期計画の策定について、区計画及び各地区での策定を推進・支援します。また、地区社協活動と地区別計画が連動するよう支援していきます。

9 善意銀行(寄付)や賛助会費等の広報と有効活用

善意銀行や賛助会費等については、広報紙等の媒体を活用し、区民にわかりやすく伝えます。また、善意銀行は、福祉の泉助成金の財源として有効活用に努めます。

10 災害ボランティアセンターの運営強化

泉区災害ボランティア連絡会との連携により、運営マニュアルに基づいた災害ボランティアセンターの運営体制づくりを具体的に進めます。また、泉区役所や地域防災拠点との連携を強化するとともに、区民の災害に備えた活動への参加を促進します。

11 民生委員・児童委員との連携・支援

一斉改選により新たな民生委員・児童委員の活動を支援するとともに、退任された委員も含め、地域福祉保健活動を推進する重要なパートナーとしての関係強化に努めます。

12 事業の効率化・見直し・廃止に向けた取組

限られた組織体制の中で適正な事業執行を確保するため、事務・事業の効率化に努めます。特に送迎サービス事業については、移動情報センターとの役割や介護保険サービスを始めとした他の送迎サービス事業の状況を踏まえ、見直しを引き続き検討します。

13 区社協事業や地域福祉活動の理解促進・適正な法人運営

区社協の取組を積極的に周知するとともに「組織全体のガバナンス強化」「事業の透明性確保」「財務規律の強化」「人材育成」を進め、区民の期待や信頼に応えます。

■ 事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組項目に基づいて、第3期泉区地域福祉保健計画推進の柱及び重点項目にも連動した形で策定しています。

また、主な事業の予算額を表示（2年度予算額[元年度予算額]）しています。

1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

1-1 健康寿命を延ばすための健康づくりを進める

(1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組を進めます。

【取組事項】

- ① 地区社協など地域で行われる高齢者食事会、サロンやウォーキング事業等への支援
- ② 町内会やシニアクラブ等が実施する健康づくり・介護予防活動の支援
- ③ 区内高齢者食事会や子ども食堂等の「食事サービス団体連絡会」（仮称）の実施

(2) 認知症に対する正しい理解と見守り活動の推進

認知症の正しい理解を広げ、支援する担い手を増やします。

【取組事項】

- ① 区、地区社協、地域ケアプラザ等と協力し認知症を理解するための講座等の実施
- ② 「泉区認知症キャラバンメイト連絡会」への参画と協力支援
- ③ 企業等への認知症に対する理解啓発活動

1-2 安心して暮らし続けられる環境をつくる

(1) 生活支援体制整備事業

200千円 [200千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区、地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設や企業など、多様な団体との連携により、担い手の発掘と育成や新たな活動を創出し、地域包括ケアシステム構築に向け取組みます。

【取組事項】

- ① 地域活動に取組む団体等を対象とする研修会の実施
- ② 区と協働して区レベル協議体（支えあいの仕組みづくりを進める会議）の開催や各地域ケアプラザの協議体の開催支援
- ③ 第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、各エリアの状況把握と全区的な取組課題を検討します。また、他都市への視察や研修会・勉強会を実施します。
- ④ 専門機関部会で立ち上がった地域貢献事業「泉サポートプロジェクト」が、企業やNPO法人等も含めて多様な主体の連携により、進められるよう支援します。

(2) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業

190千円 [133千円]

様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、民生委員・児童委員や地区社協など地域の福祉保健関係者とより一層の連携により、つながりや支えあいづくりを推進します。

【取組事項】

- ① 区内の「ちょこボラ」（住民同士の助け合い）活動団体の立ち上げを支援し、担い手育成や地域での見守り体制を広げます。
- ② 区・包括カンファレンス等への参画をもとに、個別・地域課題の継続的な把握を行い

ながら課題を抱えた住民と地域とのつながりづくりを進めます。

- ③ 「住民支え合いマップ」(要援護者の把握と支援体制づくり)等の研修会の実施と継続支援

(3)子どもの支援

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

【取組事項】

- ① 子育てネットワークへの参加
 ア 泉区子育て支援連絡会・子育てサークルリーダー研修会・子育てサロン連絡会の事務局として、区役所、子育て支援拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、研修会を実施します。
 イ 地域ケアプラザエリアの子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検討、支援を行います。
- ② 子ども食堂や対象者を限定しないサロン等の居場所づくり支援
 JA横浜、セブンイレブン等の企業と連携して食を通じた地域づくりを進めます。
- ③ 区内関係機関との区内の子どもの状況についての情報共有
 区役所やスクールソーシャルワーカー等と子どもの置かれている状況について情報共有を進め、地域住民と協力しながら子どもの健やかな育ちを支援します。
- ④ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や横浜市西部地域若者支援連絡会等と連携し、個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解を広めます。

(4)権利擁護事業(あんしんセンター)

363千円 [399千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。また、判断能力の低下に伴い成年後見人に速やかに移行できるような区や地域包括支援センターとの連携を図ります。また、サポートネット分科会を開催し横浜市市民後見人バンク登録者(泉区登録者)との連携を進めます。

	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
権利擁護事業契約件数(件)	42	47	49	55
当年度契約数(件)	11	11	12	10

(5)送迎サービス(移送サービス・外出支援サービス)事業

3,749千円 [4,926千円]

外出が困難な在宅の高齢者・難病患者に対し、通院、福祉施設、行政等での手続きなどの際の送迎支援を行います。なお、本事業のあり方について、本会の役割や介護保険サービスを始めとした他の送迎サービス事業の状況を踏まえ、全市的な検討を行います。

	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
送迎サービス事業利用件数(件)	1,242	1,056	600	600
登録者数(人)	270	261	104	100

(6)移動情報センター事業

9,179千円 [9,192千円]

障がい児者の通学通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。

	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
ガイドボランティア登録件数(件)	26	40	29	35

【取組事項】

- ①推進会議、事業者連絡会の開催

- ②ガイドボランティア講座等の開催及びボランティアの確保・養成
 - ア ボランティアセンターや関連機関等と連携し、ガイドボランティアの相談が多いエリアやガイドボランティアが不足しているエリアを重点に拡充します。
 - イ 地域住民に向けての障がい児者への理解を深める活動
 - ウ ガイドボランティア交流会を通じたフォローアップ
- ③自治会町内会、地区社協、泉区障害福祉自立支援協議会、関係団体への事業のPR活動

(7)生活困窮者自立支援施策への対応

3,151千円[3,163千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区役所生活支援課との連携を通して支援に取り組めます。また、新任民生委員・児童委員のフォローをし、密接なやりとりをしていきます。

①生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類 総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金（教育支援資金等）、不動産担保型生活資金、その他

②食糧支援

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対しては、区と共有し、セブンイレブンやフードバンクかながわ等と連携して自立に向けた支援をします。

(8)「泉ふれあい助成金」「福祉の泉助成金」配分事業

13,066千円[13,063千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。

	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込
助成団体数(件)	197	200	186	200

2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する

2-1 地域の中でより多くの人との交流を進める

(1) 様々な人との交流の推進

250千円[250千円]

【取組事項】

- ① 第29回ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会の実施（協働事業：区内の中・高・大学生のボランティア参加）。大会当日は、2020年東京オリンピック、パラリンピックに関連した啓発ブースを設置します。
- ② ジュニアボランティア活動の機会（福祉イベント、共同募金街頭運動など）を提供

(2) サポートが必要な人への理解の推進

20千円[20千円]

【取組事項】

- ① 泉区福祉の作品展を開催し、その周知と障がい者への理解・啓発の推進
- ② 障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座を実施
- ③ 泉区障害福祉自立支援協議会への参画
障がい者や家族が安心して暮らすことができるよう部会、委員会で課題解決に向け検討を進めます。また、支援職員のスキルアップを図るため研修会等の開催を支援します。

(3) 福祉教育

137千円[120千円]

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の機運を捉え、昨年から継続してサマースクールのプログラム内容を充実して取り組めます。また、区内の学校等に向け、福祉教育

相談のPRを行います。

【取組事項】

- ① 学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや認知症理解等の福祉教育(啓発)を実施
- ② 小中高生対象「サマースクール2020」(福祉体験学習)の実施
- ③ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会での情報提供、学校との連携強化
- ④ 「福祉教育サポーター」(学校等での福祉教育研修・講座の支援ボランティア)の拡充・活動支援

2-2 活動のネットワークと連携を強化する

(1) 地区社会福祉協議会(地区社協)活動の支援

7,670千円 [7,770千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めるなか、地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。

【取組事項】

- ア 地区社協分科会の定例開催
- イ 地区社協(区域)研修の開催、地区研修の開催支援
- ウ 地域アセスメント、地区診断の実施
- エ 地区別計画に連動した地区社協活動の推進
- オ 地区社協状況書作成支援から地区社協の活動を把握し対外的に発信
- カ 区社協賛助会費への理解促進
- キ 地区社協活動の広報活動
- ク 地区社協活動費の交付
- ケ 地区社協のてびきに基づいた活動支援
- コ 地区社協検討会(市社協主催)の内容から市域情報の発信、情報共有と検討
- サ チャリティーコンサート(共催:区社協・12地区社協・区役所)開催

(2) 災害ボランティアセンターの機能強化

80千円 [80千円]

災害ボランティア連絡会や関係機関等との協力体制を構築し、災害時に備えたネットワークづくりと啓発活動に取り組めます。

【取組事項】

- ① 災害ボランティア連絡会の運営・活動支援
 - ア 災害ボランティアセンター開設運営に関するシミュレーション訓練及び区社協職員合同訓練の実施
 - イ 連絡会の役割や機能の明確化
 - ウ 会員の拡充
- ② 泉区民ふれあいまつりや防災フェアなどでセンターの機能や防災減災に関する啓発活動に取り組めます。
- ③ ブロック別災害ボランティアセンターネットワーク連絡会への参加
- ④ 区役所や地域防災拠点など関係機関との連携強化
- ⑤ 備蓄品や資機材の整備

(3) 民生委員・児童委員の活動支援

地域の身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員が抱える個別課題に対して、様々なネットワークを通して活動を支援します。

(4) その他

障害者地域作業所等通所者の社会参加を促進するため、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、地域にある障害者地域作業所等の取組が区民に広く伝わるよう、ホームページの活用など啓発にかかわる支援を行います。

3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

3-1 地域活動の担い手を養成する

(1) 新たな担い手の育成(ボランティアセンターの運営)

904千円[904千円]

ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別・対象別などのボランティア講座を移動情報センター等と連携し実施します。

若い世代のボランティア活動への関心や参加を促進するため、中学生・高校生に向けた情報発信や講座の開催、相談を強化します。

【取組事項】

- ① ボランティア講座の開催
 - ア 音声訳ボランティア養成講座
 - イ 学生のためのボランティア入門講座
 - ウ 関係機関等とのボランティア活動分野別、エリア別講座の開催
 - エ 「ちょこボラ」(住民同士の助け合い)の支援(再掲)
 - オ ガイドボランティア講座(再掲)
 - カ 障がい理解講座(再掲)
 - キ 高齢者理解講座
- ② ボランティア相談の実施
 - ア ボランティア登録の相談・受付
 - イ ボランティア保険の受付

(2) 担い手と地域活動のコーディネート

区民や企業等からの相談に対して、ボランティア団体や施設、地域ケアプラザ等によるネットワーク機能を活かし、地域の活動へつなげていきます。また、障がいがある方への社会参加について、関係機関と連携し支援します。

【取組事項】

- ① ボランティア相談・コーディネートの実施、ボランティアの活動支援
- ② ボランティア登録者の更新
- ③ 登録者情報を得意分野や居住地等の分類別に検索可能に整理
- ④ 「人財バンク」の情報更新(区民活動支援センターとの協働事業)

(3) 活動継続のための支援

100千円[100千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します。

【取組事項】

- ① ボランティアネットワーク運営委員会の開催
- ② ボランティアネットワーク各部会の開催
- ③ ボランティアフォーラムの開催

(4) 泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営 16,650千円 [16,218千円]

世代や障がいの有無に関わらず誰もが安心して利用する「場」を目指し運営してまいります。また、より多くの住民に福祉保健活動に関心をもってもらうため、ボランティアセンターとボランティア講座を行うなど工夫しながら取り組んでいきます。

[指定管理期間：H28.4.1～R3.3.31]

	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
登録団体件数(件)	240	243	238	240
利用実績(延べ件数)	2,418	2,600	2,300	2,350

【取組事項】

- ①窓口や利用登録団体懇談会などを通じて利用者ニーズの把握に努め、拠点やボランティアセンター運営に反映
- ②夜間及び土日祝の稼働率向上を目的とした広報活動の実施
- ③ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進
- ④指定管理の更新に向けた取組

(5) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援 88千円 [86千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、連絡会を開催し、研修会や各種講座等を行います。

3-2 地域の活動に関心を持つ人を増やす

(1) 地域情報や活動に関する情報発信

【取組事項】

- ① 区社協だより泉の発行(年3回)
地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業などの情報を発信します。タウンニュース紙の活用や障害者地域作業所等への配付業務委託を行います。
- ② ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行(年3回)
地域で活動しているボランティアについて紹介し、ボランティア活動の促進につながるよう発行します。
- ③ 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行(年2回)
区内で実施されるボランティア講座やボランティア募集について掲載し、区内のボランティア活動の活性化につなげます。
- ④ 「ボランティアセンター通信ジュニア版」の発行(年1回)
区内イベントでの学生向けボランティア情報を掲載し、学生ボランティアの拡充を行います。
- ⑤ 区社協ホームページの活用
地域情報や活動に関する情報を広く発信できるよう、区社協ホームページを積極的に活用します。施設やボランティア団体の活動紹介や講座・イベントの情報を掲載できる「地域イベント情報」の活用を本会会員向けに案内します。
- ⑥ 災害ボランティア通信の発行(年2回)
- ⑦ 泉区民ふれあいまつりに参加し、区民への啓発活動

(2) 第34回泉区社会福祉大会の開催

福祉活動功労者に対する顕彰及び第4期地域福祉保健計画の周知

(3) その他の取組

- ① 善意銀行（寄付金品の受付、配分）の運営とパンフレットによる周知活動
- ② 介護フェア開催協力（主催：泉区老人福祉施設長研究会）
- ③ 区社協リーフレットの改訂および活用

4 社会福祉協議会活動・法人運営

(1) 「第3期 泉区地域福祉保健計画」の推進と「第4期 泉区地域福祉保健計画」策定に向けた検討

区役所との共同事務局による第3期計画の推進及び第4期計画策定に向けた検討を行い、地区別計画では地域支援チームを中心とした関係機関と連携し推進していきます。

(2) 社会福祉法人支援

社会福祉法の改正により、社会福祉法人の公益性、組織管理・財務規律の強化などが進められていますが、本会会員である社会福祉法人・施設の取組を引き続き支援します。また、本会専門機関部会が立ち上げた「泉サポートプロジェクト」の取組を支援します。

(3) 公益性の高い社会福祉法人としての、適切な組織運営

- ①理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ②各種部会、分科会の開催
- ③各種委員会の開催
ア ボランティアセンター運営委員会 イ 広報編集委員会 ウ 助成金配分審査委員会
- ④計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤会員及び賛助会員の募集と会費の有効活用
- ⑥BCP（災害時の業務継続計画）の適宜、見直し

(4) たすけあい福祉資金（火災等の罹災者への見舞金給付）

(5) 行路病人への支援（行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金の支給）

(6) 関係機関の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

- ①神奈川県共同募金会泉区支会
- ②日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会
- ③泉保護司会
- ④泉区更生保護女性会
- ⑤泉区更生保護協会
- ⑥泉区遺族会